

## 北海道戦没者慰霊堂跡地

この場所には、かつて戦没者七、四〇〇有余名の遺骨や霊位が納められた、「北海道戦没者慰霊堂」がありました。

春光台に建設された「忠魂碑」が戦争の拡大により狭隘になったことから、昭和二十年にこの地に「忠霊堂」が建設され、戦後からは、旭川仏教会と旭川市忠霊堂運営委員会が維持管理を行っていました。昭和四十七年には、旭川市忠霊堂運営委員会が市民から寄附を募り「忠霊堂」を二重屋根の「北海道戦没者慰霊堂」に建て替えましたが、平成十五年に老朽化により解体され、遺骨や霊位は地中に埋葬されました。

現在は「戦没者の慰霊と追悼」を目的とした戦没者墓地として、旭川市が管理しています。

## 沿革

昭和十一年六月 旧陸軍第七師団が、春光台に「忠魂碑」（納骨堂式）を建設し、近文にあった旧陸軍墓地を移設

昭和二十年五月 旧陸軍第七師団が、現在地に「忠霊堂」を建立して「忠魂碑」を移設

昭和四十七年九月 旭川忠霊堂運営委員会が「忠霊堂」を「北海道戦没者慰霊堂」に建て替え

平成十四年七月 忠霊堂運営委員会解散

平成十五年四月 建物の老朽化により（社）旭川仏教会が「北海道戦没者慰霊堂」を解体撤去し、遺骨及び霊位を地中に埋葬  
同 五月 慰霊碑を建立

平成二十五年十月 （社）旭川仏教会が北海道戦没者慰霊堂跡地を旭川市へ寄付

平成二十六年五月 慰霊碑を改修

平成二十八年三月 旭川市